

(4月の野菜の見通し)

品目	区分	入荷量(t)			キロ当たり単価(円)			山形県産前年実績		コメント
		前年実績	前年比 見込 (%)	5ヵ年平均	前年実績	前年比 見込 (%)	5ヵ年平均	前年入荷 量(t)	前年占有 率(%)	
だいこん		9,209	102	10,623	91	99	102	-	-	千葉産中心の入荷で全体の8割を占める。3月前半までは低温により生育が進まなかったが、下旬になって肥大が進み品質も安定してきた。4月に入ってから同様の出荷ペースとなり、潤沢な入荷が期待される。全体の入荷量は前年をやや上回り、価格は前年並みとなる見込み。
にんじん		7,330	95	7,445	124	153	160	-	-	徳島産中心の入荷で全体の8割を占める。徳島産の春人参は生育が平年より5日早く、3月下旬からまとまった量が入荷。4月も生育順調で出荷のピークは4月いっぱい続く見込み。全体の入荷量は前年をやや下回り、価格は前年を大きく上回る見込み。
はくさい		5,668	100	6,580	59	110	73	-	-	茨城中心の入荷で全体の9割を占める。茨城産の春はくさいは出荷が始まっているが、秋冬はくさいの出荷が3月末で終了するため、4月上旬は少な目の入荷となる。中旬からは量的にも増えてくるので4月としては平年並みの出荷となる見込み。全体の入荷量は前年並、価格は安値だった前年を上回る見込み。
ほうれんそう		1,405	100	1,557	409	98	409	1	-	群馬、埼玉産中心の入荷で6割を占める。群馬産は3月中旬が露地もののピークとなりその後は徐々に減少。4月はハウス栽培の比率が高まり、入荷全体としては平年並みの見込み。埼玉産は生育順調で潤沢な入荷が見込まれる。全体の入荷量は前年並み、価格は前年をやや下回る見込み。
キャベツ類		16,071	100	17,051	96	104	107	-	-	神奈川、愛知、千葉産中心の入荷で全体の約9割を占める。神奈川産は4月中旬から出荷ピークに入り、4月は潤沢な入荷が見込まれる。愛知産は冬キャベツについては平年並みの入荷が見込まれるが、春キャベツの入荷が少なく、4月としては前年を下回る見込み。千葉産は天候不順の影響で不安定な入荷が続いている。4月前半は入荷少なく、後半に増えてくる見込み。全体の入荷量は前年並み、価格は前年を上回る見込み。
ねぎ		3,895	97	4,153	217	124	242	6	0.2	千葉、埼玉産中心の入荷で全体の7割を占める。千葉産は昨年夏の猛暑により欠株が多く、収量が低下。入荷量は平年の9割程度と見込まれている。埼玉産は秋冬ものが終盤に入る。4月からは春ねぎに変わるが、千葉産同様猛暑の影響で欠株が多く、入荷量は前年を下回る見込み。全体の入荷量は千葉産、埼玉産の不作で前年を下回り、価格は国産に加え中国産も少ないことから前年を大幅に上回る見込み。

(4月の野菜の見通し)

品目	区分	入荷量(t)			キロ当たり単価(円)			山形県産前年実績		コメント
		前年実績	前年比 見込 (%)	5ヵ年平均	前年実績	前年比 見込 (%)	5ヵ年平均	前年入荷 量(t)	前年占有 率(%)	
レタス類		6,295	110	7,439	241	62	185	-	-	茨城、香川、兵庫産中心の入荷で約9割を占める。茨城産は3月下旬から入荷が増え、小玉傾向であるが平年並みの入荷見込み。香川産はL中心で平年並みの入荷見込み。兵庫産も4月いっぱいには潤沢な入荷が見込まれる。主力産地が豊作傾向であることから全体の入荷量は前年を上回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。
きゅうり		6,317	100	7,199	255	90	226	-	-	埼玉を中心とする関東産が市況をリードする。関東産は総じて、暖冬の影響で3月上旬に急増、その後、成り疲れと低温により出荷ペースは落ちてきている。全体の入荷量は低温の影響で少なかった前年並、価格は高騰した前年を下回るも平年は上回る見込み。
なす		2,079	104	3,097	334	100	324	-	-	高知産中心の入荷で全体の約7割を占める。高知産は生育良好でほぼ平年並みの入荷となる見込み。全体の入荷量は前年のような不作による減少はないものの、全国的な作付減により、前年をやや上回る程度、価格は前年並の見込み。
トマト		6,370	104	7,114	391	88	358	-	-	熊本などの暖地産に続き、栃木、千葉などの関東産が市況をリードする。各産地とも3月の低温により、小玉でや足踏み状態となっているが、その分4月の入荷は増加してくると予想。全体の入荷量は少なかった前年をやや上回り、価格は高値であった前年を下回るも、ほぼ平年並の見込み。
ピーマン		2,224	100	2,326	357	104	354	-	-	茨城、宮崎、高知産中心で全体の約9割を占める。茨城産は3月上旬の好天により着果良好で4月は順調な入荷と見込まれる。宮崎産も着果は良好で前年並みの入荷見込み。高知産は着果にバラツキがあり、入荷量が安定するのは中旬以降となる。全体の入荷量は平年並みで、価格は前年をやや上回る見込み。
ばれいしょ		9,251	100	9,094	127	94	150	-	-	北海道、鹿児島産中心の入荷で全体の9割を占める。北海道産の在庫量は前年よりやや少なめ。4月いっぱいに出荷を切り上げる予定。鹿児島産は生育順調で生産量は昨年を上回る見込み。全体の入荷量は前年並、価格は前年を下回る見込み。

(4月の野菜の見通し)

品目	区分	入荷量(t)			キロ当たり単価(円)			山形県産前年実績		コメント
		前年実績	前年比 見込 (%)	5ヵ年平均	前年実績	前年比 見込 (%)	5ヵ年平均	前年入荷 量(t)	前年占有 率(%)	
たまねぎ		15,228	95	13,454	70	143	101	-	-	北海道、佐賀産中心の入荷で全体の約9割を占める。佐賀産の生育は順調で4月に入ると本格的な出荷が見込まれるが、作付けが1割減少しており、入荷量も前年を下回る見込み。北海道産は在庫が前年に比べ2割少ない。出荷は4月いっぱい続く見込み。1全体の入荷量は前年を下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。